

フォローアップ資料

令和2年度

日向土木管内大規模氾濫等減災協議会

日向・入郷地区の減災に係る取組状況について

## ■取組方針フォローアップ

### 【取組状況】

#### (1) 延べ実施項目数 133項目

検出中を除く取組項目数：111項目（進捗率84%） R1：106項目（79%）

検出中を含む取組項目数：133項目（100%）

		五十鈴川、塩見川、耳川、小丸川上流域							
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組	目標時期	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台	計
①情報伝達、避難計画等に関する取組	継続実施	6	5	5	4	4	6	4	34
		6	6	6	6	6	6	4	40
②住民の防災意識の向上に関する取組	継続実施 ※	7	7	6	5	5	6	1	37
		7	7	7	7	7	7	1	43
③地域の防災を担う人材の発掘・育成	継続実施	3	3	3	3	3	3	1	19
		3	3	3	3	3	3	1	19
④円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組	継続実施	6	5	3	2	2	3	0	21
		6	5	5	5	5	5	0	31

※ 土砂災害ハザードマップ作成・公表：平成33年度目標 ※ 上段青色：検出中除き 下段無着色：全取組項目数

### (2)主な取組内容

#### ①について

- ・タイムライン・ホットラインの活用（全ての機関）
- ・防災計画の見直し（日向市）
- ・要配慮利用施設における避難確保計画の作成、防災訓練等の実施（日向市・門川町・椎葉村）

#### ②について

- ・L2洪水に対する洪水ハザードマップの改定（日向市・門川町）
- ・住民参加型の防災訓練実施（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村）
- ・出前授業、広報誌等による啓発（全ての機関）

#### ③について

- ・防災士取得支援（助成金）を実施（日向市・門川町・諸塚村・椎葉村）
- ・消防団との連携強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村）

#### ④について

- ・防災備蓄の強化（日向市・美郷町・諸塚村・椎葉村） ※門川町は各地区の備蓄倉庫を整備中
- ・簡易型カメラの設置、雨量局・水位計等の機能向上（宮崎県）
- ・音声合成ソフトを利用した情報伝達の開始（日向市）



## ■取組方針フォローアップ

### 【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 42項目

検討中を除く取組項目数：38項目（進捗率90%） R1：38項目(90%)

検討中を含む取組項目数：42項目（100%）

		五十鈴川、塩見川、耳川、小丸川上流域							
(2) 的確な防災活動のための取組	目標時期	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台	計
① 防災体制の強化に関する取組	継続実施	4	4	4	4	4	3	-	23
		4	4	4	4	4	4	-	24
② 災害時に拠点となる施設の自衛防災	継続実施	3	3	3	2	1	3	-	15
		3	3	3	3	3	3	-	18

※ 上段青色：検討中除き 下段無着色：全取組項目数

### (2)主な取組内容

#### ①について

- ・水防避難訓練の実施（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）
- ・水防団間の連携強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村）

#### ②について

- ・情報伝達方法の充実（門川町）
- ・施設の防災対応力強化（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・宮崎県）
- ・自衛防災マニュアル整備（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）



日向市 防災訓練



椎葉村 防災訓練



諸塚村 防災訓練



美郷町 心肺蘇生法訓練



門川町 防災座談会

## ■取組方針フォローアップ

### 【取組状況】

(1) 延べ実施項目数 46項目

検討中を除く取組項目数：31項目（進捗率67%） R1：29項目（63%）

検討中を含む取組項目数：46項目（100%）

		五十鈴川、塩見川、耳川、小丸川上流域							
(3) 被害の軽減・早期復旧に関する取組	目標時期	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県	気象台	計
① 被害軽減の取組	継続実施	3	4	2	2	2	5	0	18
		4	4	4	3	3	5	0	23
② 早期復旧の取組	継続実施	2	3	1	2	2	3	0	13
		4	4	4	4	4	3	0	23

※ 上段青色：検討中除き 下段無着色：全取組項目数

### (2)主な取組内容

#### ①について

- ・樋門点検や操作訓練の実施（日向市・門川町・宮崎県）
- ・土砂災害警戒区域設定及び説明会実施（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）
- ・河川・砂防・急傾斜事業の推進（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）

#### ②について

- ・水防資機材の確認と充実（日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村・宮崎県）
- ・水道施設のアセットマネジメント作成（門川町）



樋門点検（門川町五十鈴川）



樋門点検（日向市富高川）



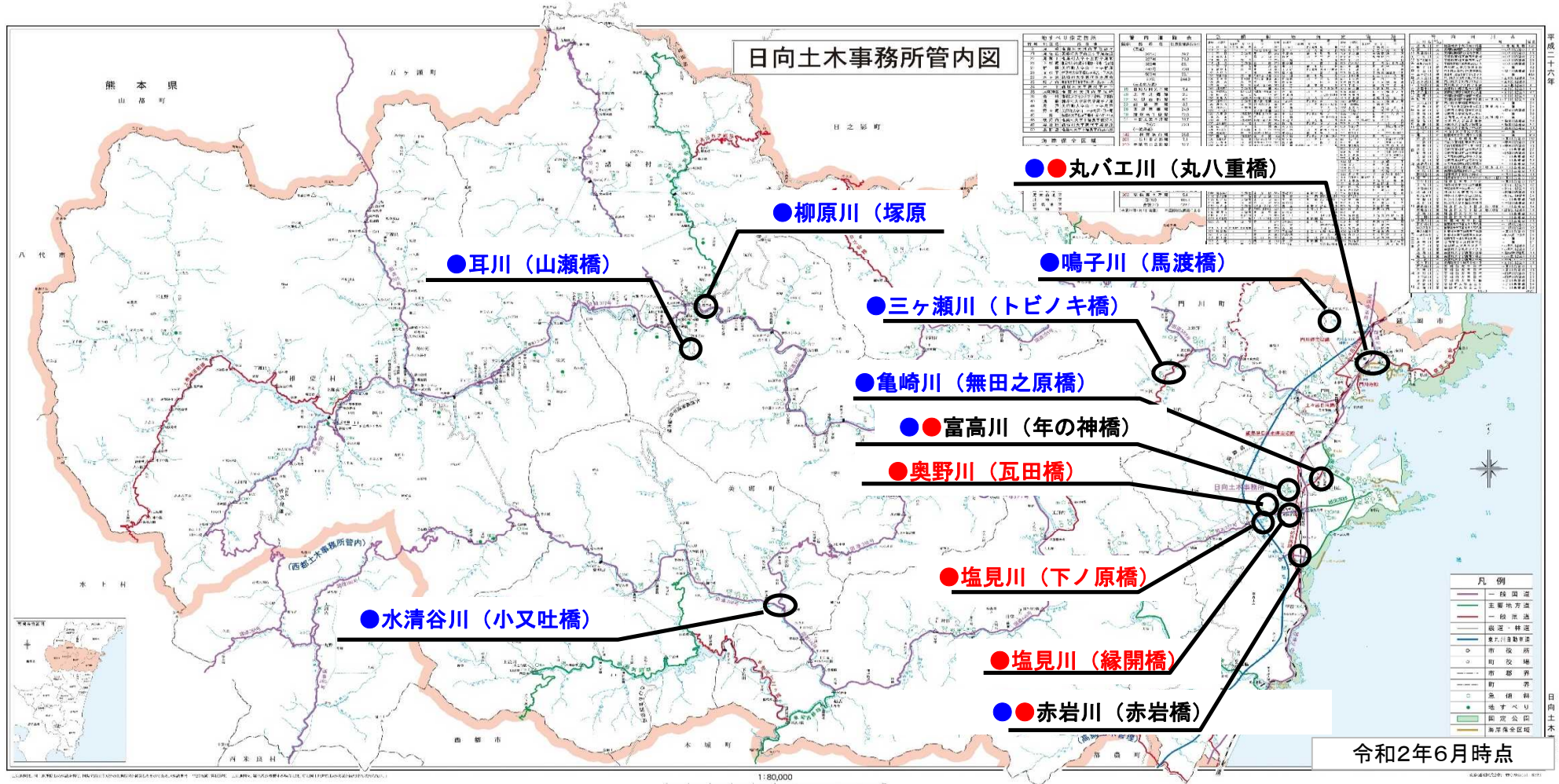
土砂防止講座（諸塚村川内公民館区）



土砂法説明会（門川町 松瀬地区）



- 危機管理型水位計 9箇所（運用中）・・・WEBページ「川の水位情報」
- 簡易型監視カメラ 6箇所（運用中）・・・WEBページ「宮崎県の雨量・河川水位観測情報」



日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和元年度実績及び令和2年度の予定

■ 概ね5年間で達成すべき目標

- 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
- 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	年度 実施主体	令和元年度					
					日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組										
(1)-1 情報伝達、避難計画等に関する取組										
					H29.5.30 減災協議会にてタイムライン・ホットラインを整備 気象台～自治体間については平成26年度から台長及び首長クラスの携帯電話番号を交換して、体制を構築済み					
①	ホットラインの実施、改善	A ロ	継続実施	取組内容 5/19 土砂災害警戒情報 5/19 塩見川 水防団待機水位 8/14 塩見川 水防団待機水位 8/14 塩見川 水防団待機水位	5/19 土砂災害警戒情報 5/19 五十鈴川 氾濫注意水位 7/20 五十鈴川 水防団待機水位 8/6 五十鈴川 氾濫危険水位 8/15 五十鈴川 水防団待機水位	5/20 五十鈴川 水防団待機水位 8/6 五十鈴川 水防団待機水位 9/22 五十鈴川 水防団待機水位	実績無し	実績無し	【水位情報】 8/6 門川町に発信 【土砂災害警戒情報】 5/19 日向市・門川町に発信	土砂災害警戒情報や大雨警報発表時など災害のおそれがある場合などに気象台、県・各市町村間のホットラインが適宜実施されている。 気象台長から首長へ非常時に備えた訓練のホットラインを実施した。 ホットラインについて周知を行い活用を進める。
進捗状況					進捗：継続					
②	タイムラインの活用、改善	B ロ	継続実施	取組内容	台風第18号等において、各機関がタイムラインに則り、適切に防災行動をとった。					
進捗状況					進捗：継続					
③	様々な方法を活用した災害危険性の周知	C D イ	継続実施	取組内容						
進捗状況					進捗：継続					
④	ICTを活用した災害情報の提供	C	継続実施	取組内容						
進捗状況					進捗：継続					
⑤	隣接市町村等における避難所の設定(広域避難体制の構築)	E	H29年度～順次実施	取組内容	日向・入郷地区防災専門部会において、管内の災害時受援計画等の策定について協議中					
進捗状況					進捗：継続					
⑥-1	浸水想定区域又は土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の市町村地域防災計画における速やかな指定	F ニ	H29年度～順次実施	取組内容 令和元年度中に防災計画の見直しを行った。今後も順次見直しを行う。	令和元年度に五十鈴川洪水ハザードマップの改定を行い、浸水想定区域内の要配慮者施設について洗い出しを行った。今後は、要配慮者施設に説明をおこない、防災計画における指定を進めていく。	令和2年度防災計画の見直しを検討中	令和2年度に防災計画の見直しを予定	浸水想定区域なし 土砂災害警戒区域については、検討中	令和元年度7月までに県管理河川の対象河川35河川の想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済 【日向管内】 耳川、塩見川、五十鈴川、小丸川 土砂災害警戒区域等の指定の推進	
進捗状況					進捗：継続					
⑥-2	要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の推進	F ニ	H29年度～順次実施	取組内容 一部の施設において計画の作成と避難訓練が実施された。	防災計画に施設の指定を進め、各施設の避難確保計画の作成、訓練の実施を推進していく。	要配慮者利用施設管理者(4事業所)にて避難確保計画を策定済み。 福祉施設は策定済みであるが、病院、診療所、学校等において作成を推進している。	要配慮者利用施設管理者にて避難確保計画を策定中。	各施設において避難確保計画作成の推進を図り、避難訓練については各施設で毎年実施している。	令和元年度8月 協議会実務者会議において、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成にあたっての説明会を実施	
進捗状況					進捗：継続					
⑦	地域防災計画における避難勧告等発令基準の妥当性の検討	ハ	継続実施	取組内容 県河川課とL2浸水域の協議を行った。	令和元年度に南海トラフ臨時情報に関する発令基準を設定した。今後も随時見直しを行っていく。	発令基準は定めているが、継続して検討中	避難勧告の発令基準は定めているが、継続して検討中	現在の発令基準の見直しを随時検討していく		
進捗状況					進捗：継続					
(1)-2 住民の防災意識の向上に関する取組										
①	想定最大規模の降雨に係る浸水想定区域の指定	G	継続実施	取組内容						
進捗状況					進捗：継続					
②	浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の周知促進	G ト	継続実施	取組内容						
進捗状況					進捗：継続					
③	洪水ハザードマップの作成、改訂、周知、支援	G	継続実施	取組内容 令和元年度にハザードマップを策定し、WEB版も構築した。	令和元年度に五十鈴川洪水・土砂災害ハザードマップを改訂した。令和2年6月に全世界帯配布予定。	H28にマップを作成し、全世界帯に配布済。 新たな洪水浸水想定区域が公表されたことに伴い改訂を検討する。	浸水想定区域のHMは作成済 令和2年度にHMの更新を予定	浸水想定区域はないが、危険箇所の周知等を図っていく	上記(1)-2-①と同じ	
進捗状況					進捗：継続					
④	土砂災害ハザードマップの作成、周知、支援	チ	～平成33年度	取組内容 令和元年度にハザードマップを策定し、WEB版も構築した。	令和元年度に五十鈴川洪水・土砂災害ハザードマップを改訂した。令和2年6月に全世界帯配布予定。	H28に作成済みであるが、見直しを検討予定。 洪水ハザードマップと併せて改訂を検討する。	令和2年度にHMの作成を予定	ハザードマップの見直しと周知を図る	H30年度は門川町にてマイハザードマップの支援。	
進捗状況					進捗：継続					



日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和元年度実績及び令和2年度の予定

■ 概ね5年間で達成すべき目標

- 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
- 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	令和元年度						
				年度実施主体	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県
⑤	まるごとまちハザードマップやマイハザードマップの取組	G(ヘリ)	H30年度～順次実施	取組内容 令和元年度にWEB版ハザードマップを構築したので、マイハザードマップ作りを進めていく。	令和元年度は屋上避難場所の誘導看板を作成した。	検討中	検討中	作成に向けて引き続き検討を行う	土砂災害に関するマイハザードマップづくりの支援は、門川町にて実施。令和2年に日向市・美郷町・諸塚村に希望有り	
⑥	過去災害実績等の周知	G(ホ)	継続実施	取組内容 台風接近前に、過去の類似台風の進路や被害記録などを対策本部内で共有した。地域で開催された防災講座等において、特徴的な災害記録を説明した。	H28の台風16号や内水氾濫についてハザードマップに掲載し、周知している。	台風接近前に、過去の類似台風の進路等について対策本部内で共有した。	継続して実施する	防災訓練や消防団へ継続して実施していく	【土砂災害防止講座】 令和元年5月～9月 地区住民：構成市町村内8地区 【土砂災害防止教室】 令和元年5～6月 構成市町村内5小学校・中学校 【防災の日フェア】 令和元年5月26日 (パネル展示、映像紹介、風水害チラシ配布)	
⑦	住民参加型の防災訓練や共同点検出前講座の拡大	H	継続実施	取組内容 地域や学校、事業所などの訓練を支援した。	5月26日に町一斉避難訓練を実施した。小中学校生徒に参加を呼びかけ、参加者3,539人、前年度比712人増となった。	毎年実施している。	毎年実施しているが、今後も継続的に実施する	防災訓練を毎年実施している	市町村が実施する防災訓練等に参加するなど、今後の取組を検討する。	
⑧	教育機関と連携した防災教育の促進	H(ヘ)	継続実施	取組内容 小中学校、県立学校において訓練や防災講座が実施された。	令和元年度は、宮崎県の学校安全総合支援事業のモデル地域の指定を受けたことにより、門川高校と門川中学校を拠点校とし、町内小・中・高等学校、地域と一体となった防災教育、防災訓練を実施した。8月には一斉下校時避難訓練を行った。	避難訓練等を利用し防災教育を行う。	避難訓練等を利用し防災教育を行う	教育委員会と連携して実施していく		宮崎県の学校安全総合支援事業の会議で防災教育の協議を行い、この取り組みの一環で地震津波に関して防災講話を実施した。宮崎県教育庁と連携で、防災教育を推進していく。
⑨	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	H(ヘ)	継続実施	取組内容 広報ひゅうがでの防災特集や地域の訓練においてチラシ配布、AIを活用した防災訓練を実施した。	昨年度より町広報において、毎月防災ページを設け防災意識啓発を行っている。	町HPや町ケーブルTVを通じて啓発している。	村HPや広報紙などを通じて啓発の継続実施を行う。	村広報誌を通じて継続して実施していく		
(1) - 3 地域の防災を担う人材の発掘・育成										
①	防災士の登録拡大を推進	J	継続実施	取組内容 H30年度までに323人が取得し、令和元年度は23人が新たに取得した。	防災士取得促進助成金を交付し、登録拡大を図ってきた。令和元年度は27名が防災士資格を取得した。令和2年度は、門川町防災士会を立ち上げ防災士と地区の連携を深めていく。	防災士資格取得補助金については、現在検討している。	消防団に対する取得の助成は行っているが、今後は消防団員以外の取得支援について検討を行う。	資格取得の助成を継続して実施していく	地域の防災リーダーを育成するため、防災士養成研修を実施している。	県からの委託を受け防災士ネットワークが実施する防災士養成研修において、講師派遣等の協力を行い、受講環境の整備を行った。引き続き、講師派遣等を行う。
②	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	J	継続実施	取組内容 水防訓練を実施するとともに、消防団の移動消防学校において、水防工法訓練を実施した。	町一斉避難訓練では、地区と連携して消防団も参加し、避難訓練後には各地区内で初期消火訓練等を実施している。また、消防団と地区役員による防災行政無線を利用した電話訓練やトランシーバー訓練を実施している。	関係機関との訓練等を通じ連携を高めた。	関係機関との訓練等を通じ連携を高める。	消防団や自主防災組織との連携強化を継続して実施していく	関係市町、関係団体と防災対策会議及び防災訓練を実施	
③	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	J	継続実施	取組内容 コミュニティ助成を活用して自主防災会の資器材の充実に努めた。	自主防災組織活動補助金を通して活動の活性化を図っている。令和元年は、地区会長と町内防災士の意見交換会を実施し、自主防災組織と防災士のマッチングを行った。	毎年実施している「町統一防災訓練」を通じ連携強化を図りたい。	消防団、自主防災組織との訓練等を通じ連携を高める。	消防団や自主防災組織との連携強化を継続して実施していく	地域や学校、企業の防災訓練や研修会に防災士を講師として派遣している。	
(1) - 4 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組										
①	河川監視カメラ配置計画の再検討	K	H30年度から順次実施	取組内容 簡易型河川監視カメラを管内6箇所に設置。						【日向管内】 赤岩川、奥野川、富高川、塩見川2、丸バエ川
②	安定した雨量・水位情報等を提供できるよう観測局の機能向上及び適切な維持管理等	K	継続実施	取組内容 交付金等を活用し、観測局等を含むテレメータ観測システムの適切な維持管理を実施。						【日向土木】 ①水位局更新 五十鈴橋、美々津橋、天神橋 ②雨量局更新 日向土木、美々津橋 ③危機管理型水位計 鳴子川・亀崎川・赤岩川・富高川・丸バエ川・三ヶ瀬川・柳原川・耳川
③	新たな情報伝達手段の整備	M	H30年度から順次実施	取組内容 音声合成ソフトを利用した「防災情報配信サービス」の登録者拡大に努めた。						
④	防災ステーション、避難所等の防災拠点、アクセス路の整備	N	H30年度から順次実施	取組内容 防災倉庫整備に向けての検討を行った。	令和2年度に防災拠点施設として新庁舎完成予定。	新庁舎を中心として、防災体制を構築していきたい。	村長期計画も含め、総合的に検討する	各避難所対策の充実を検討していく	市町村の計画等を踏まえ、必要な対策を検討していく	
⑤	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難所の確保	O	継続実施	取組内容 避難路において手すり等を設置した。	自主防災組織活動補助金を活用し、自主防災組織で避難経路や避難所の整備を進めている。	浸水想定区域の見直し及び基礎調査結果を踏まえ、今後検討を行う。	基礎調査結果を踏まえ、R2にHMを作成予定。避難経路や避難所も含めて検討を行う。	避難所や避難路の見直しを継続して実施していく		

日向・東臼杵地域の減災に係る取組方針 進捗状況表 (日向土木管内大規模氾濫等減災協議会) ※ 令和元年度実績及び令和2年度の予定

■ 概ね5年間で達成すべき目標

- 大規模氾濫等に対し地域防災力を高め「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指す。
- 圏域内の広域的な防災協力関係を進化させるとともに、圏域外からの受援体制づくりを整えて、災害からの早期復旧を図る。

取組番号	主な取組項目	課題対応	目標時期	年度	令和元年度						
					実施主体	日向市	門川町	美郷町	諸塚村	椎葉村	宮崎県
⑥	浸水や土砂災害による途絶を考慮した指定避難所等における防災備蓄の強化	P	継続実施	取組内容	市備蓄計画に基づいた備蓄品の購入とともに、コミュニティ助成事業を活用し、自主防災会に発電機などを整備した。	自主防災組織活動補助金を活用し、地区単位の備蓄倉庫の整備を進めている。また令和2年度までにすべての指定避難所に備蓄倉庫を整備する。	土のうやスコップ等は、消防団が管理している。その他の備蓄品については、関係機関と協力しながら配備したい。	備蓄品については毎年確保を行っているが、避難所への配備については今後検討を実施する。	H29から県の備蓄計画に基づいた椎葉村備蓄計画を作成し、備蓄を開始した		
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続		
				取組内容	一部において避難所案内看板を設置した。	要配慮者を考慮した避難所備蓄資機材の整備を年次的に行っていく。	一部の施設は整備されている。未整備箇所については、検討していきたい。	村長期計画も含め、総合的に検討する	避難所のバリアフリー化等を検討していく	市町村の計画等を踏まえ、必要な対策を検討していく	
⑦	要配慮者の利用を想定した避難所等の整備	Q	H30年度から順次実施	取組内容	音声合成ソフトを利用した「防災情報配信サービス」の利用拡大を行った。	町広報、防災ガイドブックで宮崎県防災メールの周知を図っていく。	登録を推進する。	登録を推進する	宮崎県防災・防犯情報メールサービスへの登録促進をしていく	県庁ホームページにおいて、宮崎県防災・防犯情報メールサービスの登録ページを設置し、登録を促進	
⑧	防災メールへの登録促進	XL	継続実施	取組内容	音声合成ソフトを利用した「防災情報配信サービス」の利用拡大を行った。	町広報、防災ガイドブックで宮崎県防災メールの周知を図っていく。	登録を推進する。	登録を推進する	宮崎県防災・防犯情報メールサービスへの登録促進をしていく	県庁ホームページにおいて、宮崎県防災・防犯情報メールサービスの登録ページを設置し、登録を促進	
② 的確な防災活動のための取組											
②-1 防災体制の強化に関する取組											
①	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	R	継続実施	取組内容	自主防災会が所有している資機材の品目・数量等をデータベース化し、数量等の確認を行った。	毎年、水防資機材の確認、充実を図っていく。	自主防災組織や消防団に水防資機材の確認を実施	継続して実施する	継続して実施していく	平成30年度に五十鈴川(更生橋)のはん濫危険水位等の見直しを実施	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続		
				取組内容	市広報紙やHPへの掲載やFMひょうがでの団員募集を案内するとともに、団員の資器材の充実を図った。	令和2年度より消防団OBを対象とした大規模災害団員制度を開始した。	今後も継続的に取り組んで行く。	今後も確保に向けた取組を継続的に実施する。	継続して実施していく	総合評価客方式による入札において、消防団員の雇用を評価	
②	水防団等の確保に関する取組を推進	S	継続実施	取組内容	地域や学校、事業所などの訓練への支援を行った。	5月26日に町一斉避難訓練を実施した。小中学校生徒に参加を呼びかけ、参加者3,539人、前年度比712人増となった。また、非常用持出袋を事前に全戸配布し、非常用持出袋の準備、訓練の参加を図った。	毎年9月に、町統一防災訓練を実施R2は県総合防災訓練に合わせ、11月に実施予定。	継続して実施する	椎葉村防災訓練に合わせて継続して実施していく	関係市町、関係団体と防災対策会議及び防災訓練を実施	
③	水防訓練、避難訓練の充実	SL	継続実施	取組内容	消防団部長会等において連携と協力を確認した。	消防協会日向支部で近隣消防団との連携協力を図っている。	統一防災訓練時に自主防災組織と消防団で連携を図っている。	継続して実施する	近隣消防団との更なる連携協力を実施していく	市町村の要望に応じて、広域消防体制の構築に向けて、検討していく。	
④	水防団間での連携協力に関する検討	S	継続実施	取組内容	台風接近前に関係課を通じて、情報伝達の確認を行った。	ウェザーニュースのメール配信システムを活用。各課の連絡体制の周知を図った。	自主防災組織の責任者(区長)への連絡について、区長会にて依頼した。	情報伝達手段の見直し等を行い、確実に情報提供出来るよう検討を行う。	情報伝達の多重化に向けて継続して検討していく	タイムライン・ホットラインを活用し、市町村への情報伝達の徹底を推進	
⑤	施設の耐震化や耐水扉の設置、非常用発電等の整備を促進	T	継続実施	取組内容	避難所運営マニュアルを策定し、各自主防災会に配布した。	町内事業所が防災マニュアル整備の際には、助言・意見の協力をしている。地区防災計画については、地区に周知を図り、策定を目指す。	一部、自主防災組織においてマニュアル作成をしている。	継続して実施する	B C Pや職員初動マニュアル等の見直し等を継続して実施していく	防災マニュアルを整備	
③ 被害の軽減・早期復旧に関する取組											
③-1 被害軽減の取組											
①	樋門や排水機場等の既存施設を有効に活用するための操作の検証	U	継続実施	取組内容	水門管理点検を実施した。	出水期前に樋門の点検、操作確認を実施した。	必要に応じ検証する。			関係市町と連携し、出水期前に樋門操作訓練を実施	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続				
				取組内容	土砂災害警戒区域等の指定の推進	土砂災害警戒区域の指定の推進津波災害警戒区域の指定については、県や各市町村と協議を進める。	土砂災害警戒区域等の指定の推進	関係機関と連携して実施していく	関係機関と連携して実施していく	水害危険区域の指定にあたって参考となる、想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を公表済【日向管内】耳川、塩見川、五十鈴川、小丸川	
②	災害危険区域等の指定推進	W	継続実施	取組内容	県や関係部局と連携し、検討を進める。	本町には輪中堤防等盛土構造物を有するような浸水被害軽減地区はない。	関係部局と連携し検討を行う。	関係部局と連携し検討を行う。	関係機関と連携して検討していく	上記(3)-1-②と同じ	
③	浸水被害軽減地区の指定	WX	継続実施	取組内容	総合流域防災計画に基づく確実な施設整備を推進すると共に適切な維持管理に努める。					河川改修事業、土地利用一体型水防事業等を実施	
④	総合流域防災計画に基づく確実な施設整備を推進すると共に適切な維持管理に努める。	Y	継続実施	取組内容	急傾斜地の対策事業を進めている	急傾斜地の対策事業を進めている。	国・県の砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の実施や町単独の事業を実施している。	急傾斜地の対策事業を進めている	急傾斜地の対策事業を進めている	構成市町村内15地区において、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業を実施	
⑤	土砂災害から住民を守る施設の整備を行う。	Y	継続実施	取組内容	急傾斜地の対策事業を進めている	急傾斜地の対策事業を進めている。	国・県の砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業の実施や町単独の事業を実施している。	急傾斜地の対策事業を進めている	急傾斜地の対策事業を進めている	構成市町村内15地区において、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業を実施	
③-2 早期復旧の取組											
①	水防資機材の保有状況の確認、見直し	V	継続実施	取組内容	自主防災会が所有の資機材の品目・数量等をデータベース化し、数量等の確認を行った。	保有状況については毎年度確認している。今後資機材の充実を図っていく。	随時見直しを継続する。	随時見直しを継続する	資機材の点検や見直しを継続して実施していく	毎年度、出水期までに水防資機材の確認を実施	
				進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続		
				取組内容	地域防災計画において定める施設で検討する。	H29水道課アセットマネジメント作成。南海トラフ想定での重要施設管路について、耐震化計画設定	医療機関、福祉施設、避難所等の重要施設について検討したい。	関係機関との連携を行い、検討する。	関係機関との連携を図り、検討していく	日向土木BCP計画を策定しており、有事の際は計画に基づき行動する。	
②	ライフラインを確保するための復旧優先施設の検討	Z	継続実施	取組内容	災害対策本部及び関係機関と連携を行い検討する。	災害対策本部における指揮体制を図る。	災害対策本部にて指揮体制を図りたい。	関係との連携を行い、検討する。	災害対策本部業務の充実を継続して検討していく	日向土木BCP計画を策定しており、有事の際は計画に基づき行動する。	
③	復旧の優先度や支援団体の配置を指揮・調整する復旧対策指揮体制の構築	Z	継続実施	取組内容	受援計画を策定し、関係機関への浸透を図った。	日向入郷の市町村で策定に向けての協議を重ねた。 ※全体計画策定後、各市町村において個別に受入計画の策定が必要。		災害時受援計画を策定済み。	災害時受援計画を策定済み。随時見直しを行う。		
④	災害時受援計画の策定	Z	H30年度から順次実施	取組内容	進捗状況	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	進捗：継続	